

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 3/20 第19号 文責 上田
学校教育目標 「探究心を持って未来を創造し、心豊かにたくましく生き抜く生徒の育成」

令和4年度が終了しました。

今年度の初めに皆さんにこの1年、心がけてほしいこととして「志を持ち、夢や希望に向かって、粘り強く、挑戦して行ってほしい」というお話をしました。コロナ禍の状態でしたが、夢を持てば目標ができ、目標ができれば計画が立ち、計画が立てられれば実践ができます。皆さんには、「やれそうだ」「おもしろそうだ」「やってみたい」そんな思いをもってワクワクした気持ちで、この1年間の中学校生活を送ってほしいとお願いをしました。1・2年生の皆さんは、この1年間をどのように中学校生活を送りましたか。困難だから、失敗することが嫌だから、しんどいからといって「何もしない」という人は、自分の成長を自分でストップさせています。たとえ成功しなかったとしても一生懸命努力し、頑張ったことは自分を成長させることにつながるはずです。私は皆さんによく「何かにチャレンジしてほしい」と話をしてきました。しかし様々なことに取り組んでも、成功よりも失敗の方が多いかもかもしれません。だから4月からは、チャレンジすることと同時に、失敗から立ち直る力、回復する力つまり「レジリエンス」を身につけてほしいと思います。この世にたった一人の自分を育てる責任者は、自分自身です。自分自身に問掛け、対話して、失敗から学んでいくことも必要になります。これからも様々なことに、どんどんチャレンジし、成功や失敗を繰り返し、学んで行ってほしいと思います。

4月からは新型コロナウイルス感染対策が緩和され、学校生活でもマスク着用など制限がない、皆さんが初めて経験するコロナ禍前の中学校生活がスタートすることになります。中止されていた行事等も復活してくる予定です。4月6日の着任式、始業式には元気に登校して、新しい自分をスタートさせることになります。どうぞよろしくお願いします。

令和4年度 卒業証書授与式

3月15日 第73回の卒業式を行いました。今年度も新型コロナウイルス感染対策が緩和され、卒業生は基本マスクを着用せず、皆さんの顔が見える卒業式が挙行で、心温まる雰囲気の中で143名の卒業生は笑顔で双ヶ丘中学校を巣立っていきました。コロナ禍での中学校生活3年間、生徒たちもいろいろな苦勞をしてくれました。そんな中でも工夫と努力をし、今までにない思い出を作ってくれたようです。



春休みの予定

3月23日(木)	離任される教職員	午後1時より、学校のホームページに掲載
30日(木)	離任式	生徒登校 午前9時 体育館に集合
4月6日(木)	着任式、始業式	生徒登校 午前8時30分
7日(金)	入学式	参列生徒：生徒会本部役員